



保健室便り

No.161 2026年4月

桃山学院大学 保健室

麻しんは世界で流行している感染症です

ゴールデンウィーク中、ゴールデンウィーク明けも麻しんに注意が必要です!!

- ゴールデンウィーク中に旅行を計画している人は、麻しんウイルスに対して免疫があるか確認して下さい。
- 麻しんの潜伏期間は10日~12日と長いのでゴールデンウィーク後に海外からの帰国者が感染していることに気が付かず、国内に持ち込んで感染を広めることがあるので注意してください。
- 海外から帰国した人は、帰国後2週間は体調管理に注意して下さい。
- 発熱、発疹などの症状が出た場合は、医療機関へ症状を伝えて、医療機関の指示に従って受診して下さい。

麻しんについて

麻しんは、発熱と発疹を特徴とする全身性のウイルス感染疾患です。感染力が非常に強く、麻しんウイルスに対して免疫が不十分だと感染します。

合併症として、肺炎、稀に脳炎を発症し死亡することがあります。さらに麻しんウイルスに感染し快復した後、数年の期間を経て、亜急性硬化性全脳炎を発症する場合があります。知能低下、歩行障害の症状から発症し、現在治療方法はないので症状が徐々に進行し、自分で食事を摂ることも出来なくなります。

有効な予防方法は、ワクチン接種を2回受け麻しんウイルスに対して免疫を獲得すれば、発症のリスクを最小限に抑えることが期待出来ます。

海外の麻しん発症状況

2025年は世界的に麻しん(はしか)が流行し、特にベトナム、アメリカ、ヨーロッパで急増しました。未接種者や低年齢層を中心に感染拡大し、一部地域では死亡例も報告されています。日本国内でも海外からの持ち込みによる感染(輸入例)が増加しており、注意が必要です。日本での麻しんのワクチン定期接種の方法は、WHOが推奨する2回ではない年代があるので以下の表を参考にご自身の麻しんに対する免疫を確認してください。

生年月日 2024年時点の年齢	麻しんワクチン接種状況
1972年以前	ワクチン未接種世代 自然感染により免疫を十分に持っている人以外は合計2回のワクチン接種が必要
1972/10/1~1990/4/1	1回しか接種していない世代 免疫を十分に持っていない可能性が高く、自然感染していなければ、合計2回となるよう追加の接種が必要
1990/4/2~2000/4/1	特例措置対象者の世代 2回目のワクチン接種対象となったが、接種率が低く合計2回の接種を受けていなければ追加接種必要
2000年4/2以降	定期接種として2回受けている世代 2回の定期接種を受けていなければ追加接種必要



不安なことや、わからないことがあれば保健室までご相談ください。
保健室窓口時間:9:10~16:40 (月~金)
TEL0725-92-7614(直通)
メール:hoken@andrew.ac.jp